

## しあわせ信州移動知事室（南信州地域）の実施結果について

コンテンツ名	産業振興と人材育成の拠点(航空機システムの拠点)視察
日時	平成30年10月24日(水) 15:00~15:40
場所	旧飯田工業高等学校跡地ほか
参加者	飯田市長、南信州・飯田産業センター専務理事、信州大学航空機システム共同研究講座教授ほか
目的	国内唯一の航空機システム拠点を視察し、現状の共有と、今後の方向性を共有する。
主な内容	施設や試験機器、信州大学航空機システム共同研究講座の視察
実施結果	<p>1 信州大学航空機システム共同研究講座の研究説明</p> <p>民間航空機搭載次世代ハイブリッド型ブレーキの実現性に関する研究や、開発中の補助燃料タンクシステム等について説明を受けました。</p>  <p>2 試験機器等の視察</p> <p>平成29年3月から運用が開始されている着氷試験機<sup>※1</sup>や、平成30年4月から運用が開始されている防爆試験機<sup>※2</sup>、移設されたEMCセンター<sup>※3</sup>等を視察しました。</p>  <p>※1 着氷試験機：地上から上空までの気圧、気温、湿度を再現し、その環境下での航空機等の安全性・信頼性を評価する試験機器。</p> <p>※2 防爆試験機：航空機システムが可燃性ガス雰囲気の中で動作した際に漏電や火花等を生じ爆発しないかを試験し、装備品などの安全性・信頼性を評価する試験機器。</p> <p>※3 EMCセンター：製品から出ているノイズのレベルを測定したり、電磁波を照射したとき、製品が誤動作しないか試験評価できる施設。</p>